

令和3年度市民提案制度(2021.4.1~2022.3.31)の状況について

1 市民提案制度件数

1,879件(2021.4.1~2022.3.31受付分) ※前年度：1,629件（+250件）
過去最高

- ・2021.7.1からLINE版ココナビこおりやま運用開始
- ・ほとんどの月で投稿数が前年度と比較し増加

内訳)

ココナビこおりやま

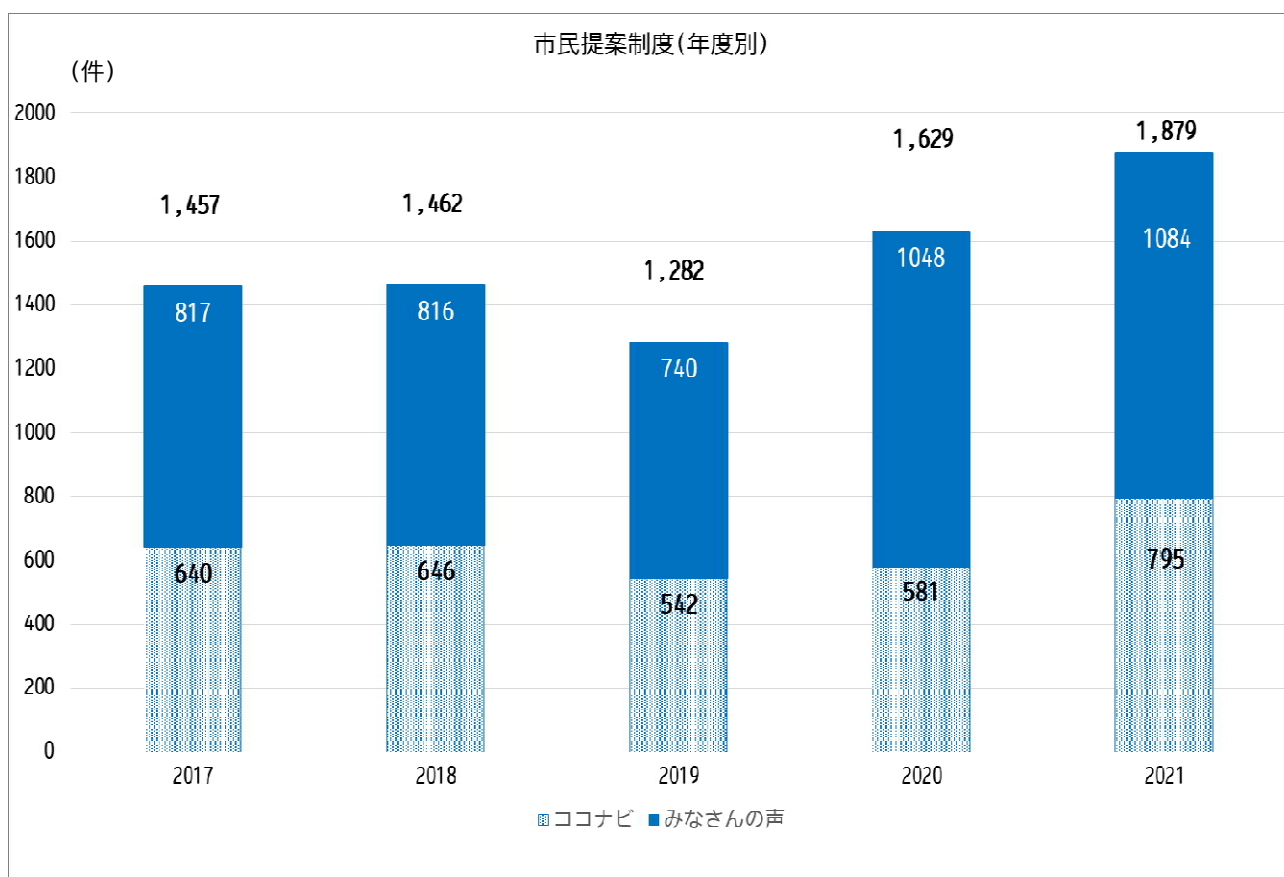
795件 ※前年度：581件（+214件）

みなさんの声

1,084件 ※前年度：1,048件（+36件）

※新型コロナウイルスに関する投稿：414件（38.2%）

（参考：2020年度 532件（50.8%））



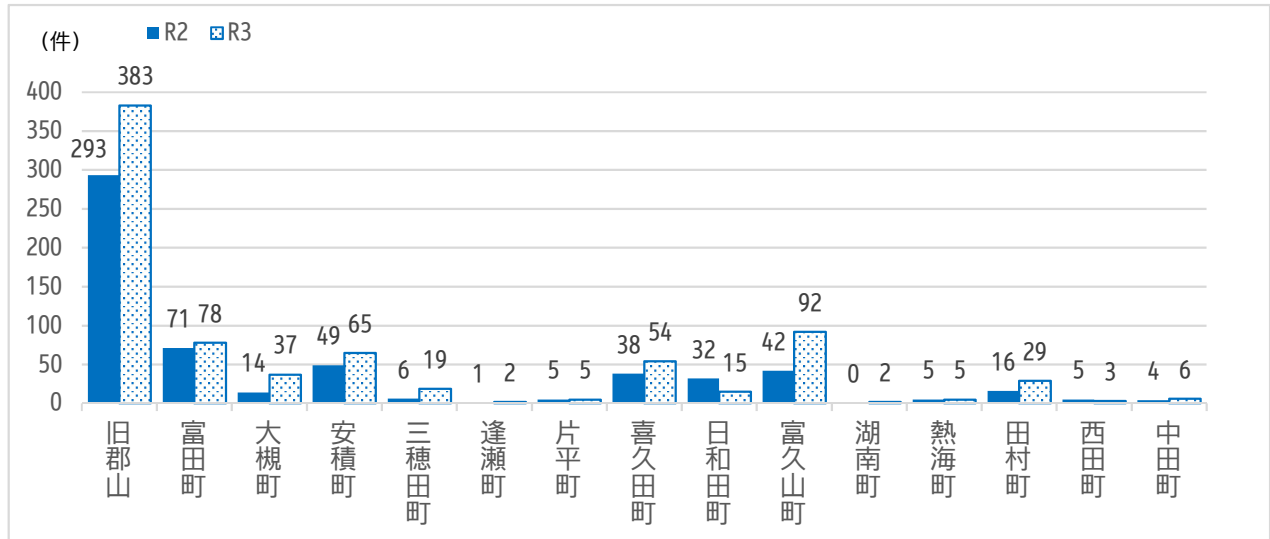
<総評>

新型コロナウイルスの影響が非常に大きく「健康・福祉」に関する投稿が多い。「健康・福祉」の次に「子育て・教育」、「公共施設」の投稿が多いが、内容としてコロナ関連のものが多かった。その他、「道路・河川」や「環境・衛生」などの投稿が前年度と比較し増加した。また、除去土壌等の搬出が概ね完了したことから「原子力災害」に関する投稿は激減した。

2 「ココナビこおりやま」の状況について

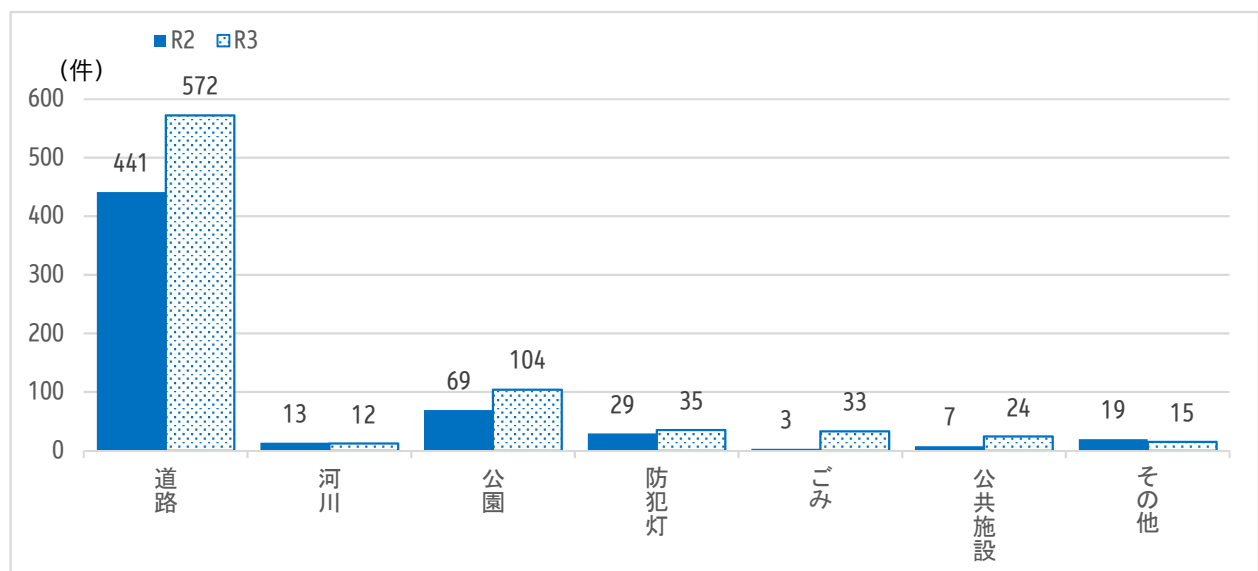
(1) 地区別投稿件数

「旧郡山」が383件で最も多く、次いで「富久山町」が92件、「富田町」が78件となっている。特に、「富久山町」は前年度と比較し、倍以上の件数となっている。「ココナビこおりやま」は、迅速に対応することができるツールであるため、今後も幅広く周知を行い、地域密着型ツールとして推進していく。



(2) カテゴリ別投稿件数

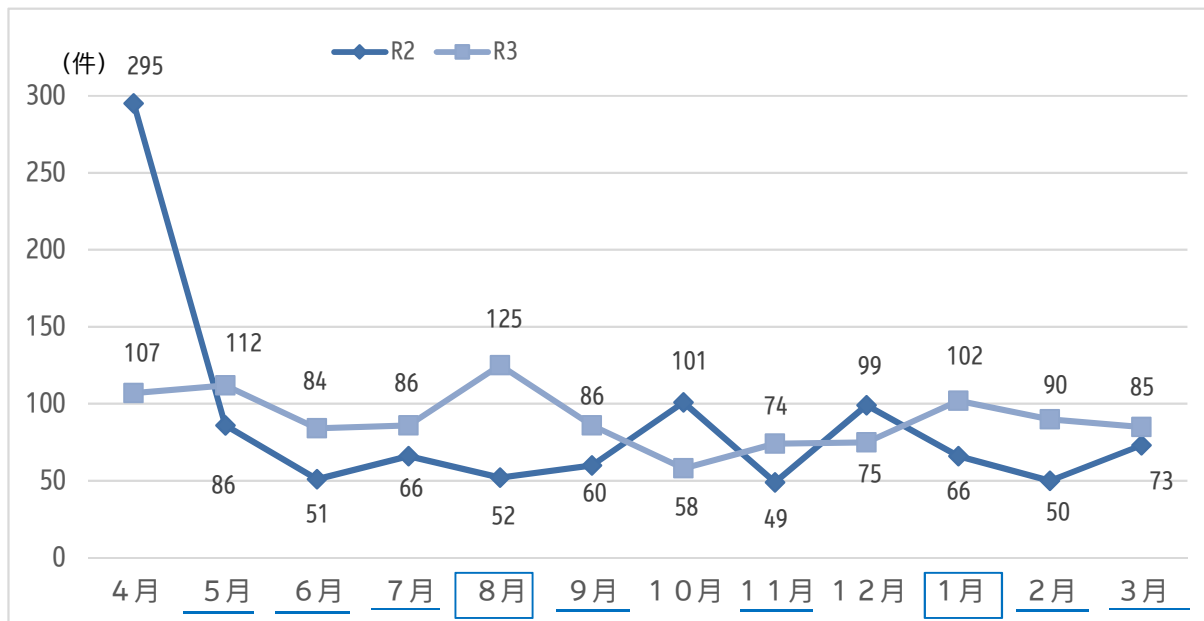
「道路」に関する投稿が572件で最も多く、次いで「公園」が104件となっている。前年度と比較し、「ごみ」や「公共施設」に関する投稿が増えていることから、道路だけでなく、他の分野においても通報ツールとして活用されていることが分かる。



3 「みなさんの声」の状況について

(1) 投稿件数（月別の推移）

前年度と比較すると投稿件数は増加している。月別でみると前年度を上回る投稿件数となっている月が9月となっている。特に、8月や1月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、県の独自対策やまん延防止等重点措置が適用になったことから投稿数が増えている。

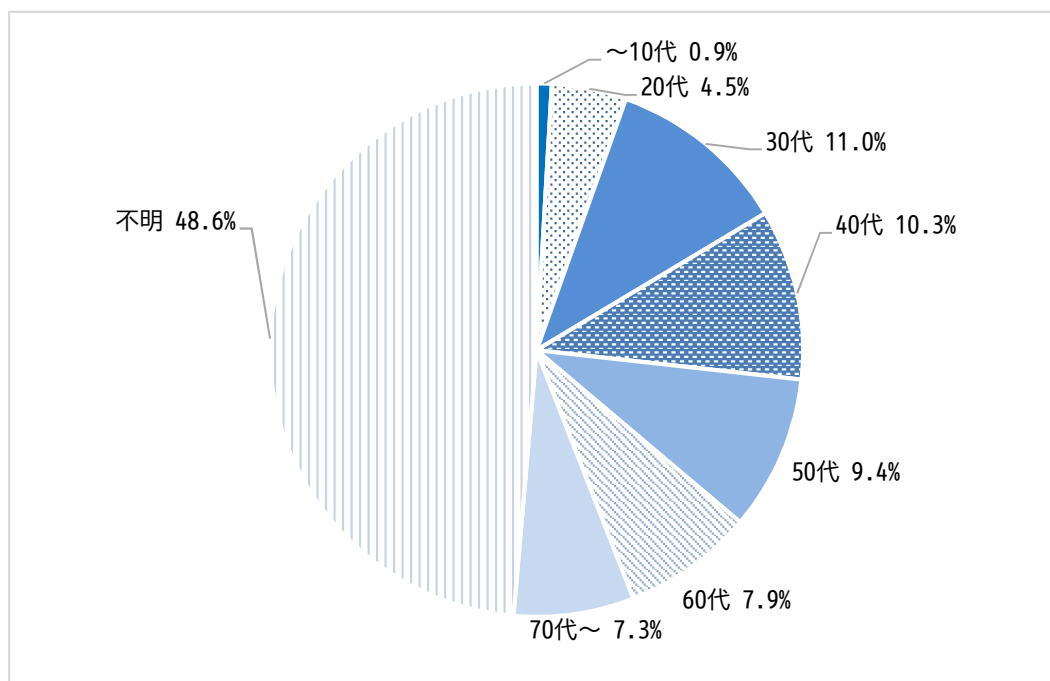


(2) 属性

①投稿者年代別

20代以下の若年層の投稿が少ない。30代が最も高く、年代の上昇とともに投稿数が微減している。

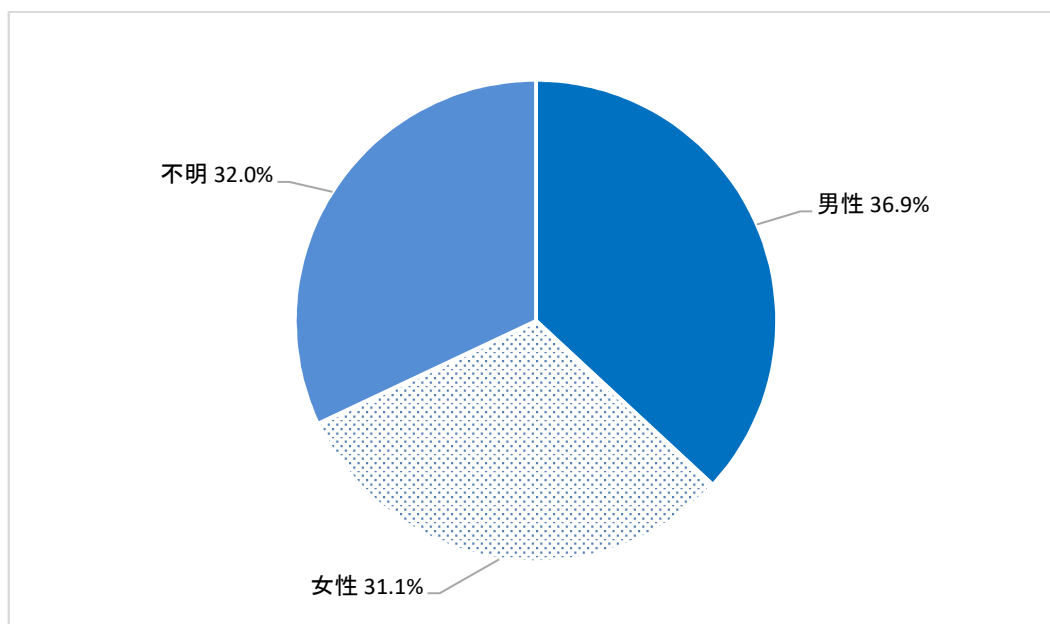
(「不明」：2020年度41.3%、2019年度35.8%)



②投稿者性別

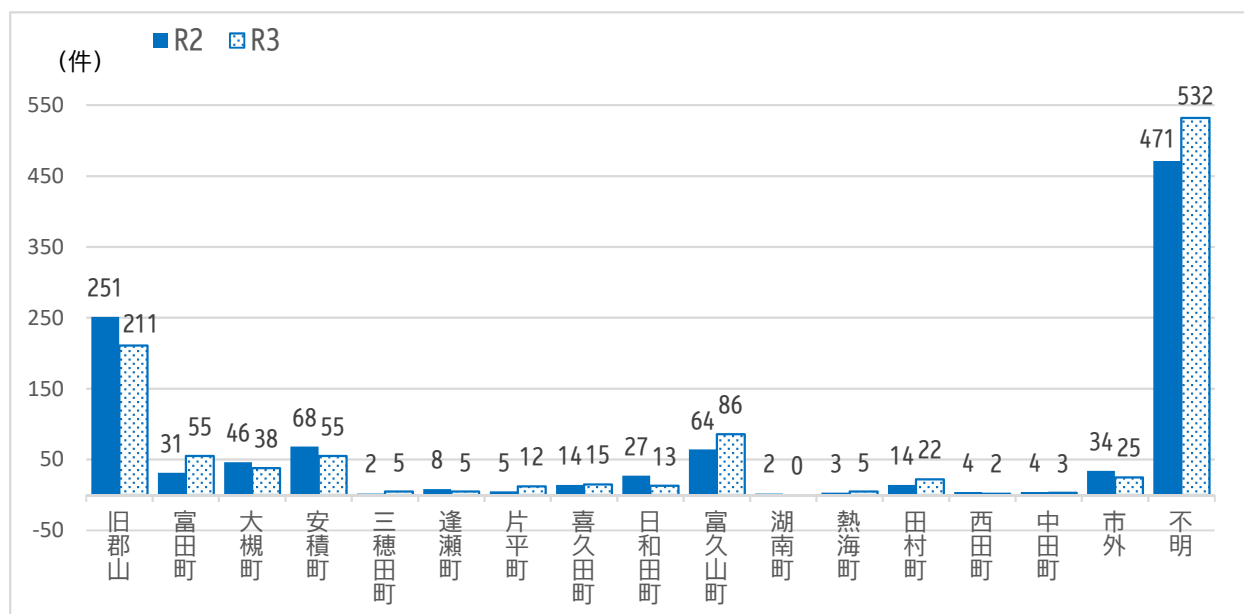
男性、女性、不明の割合は、ほぼ同じとなっている。

(「女性」：令和2年度43.0%、令和元年度31.8%)



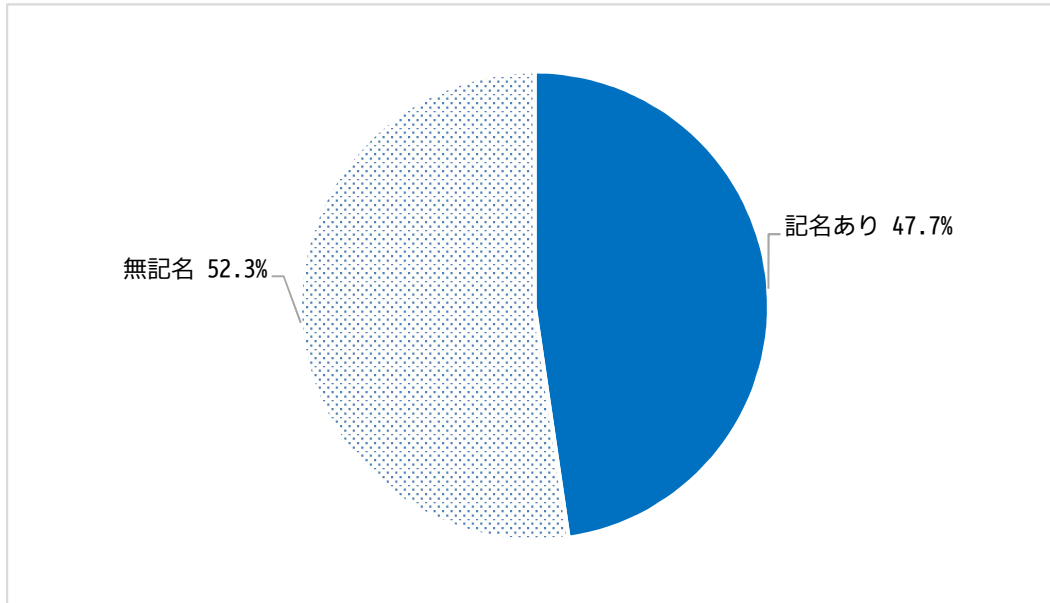
③投稿者住所地区別

「旧郡山」が211件で最も多く、次いで「富久山町」が86件、「富田町」と「安積町」が55件となっている。前年度と比較すると「富久山町」と「富田町」の投稿件数が同程度増加している。



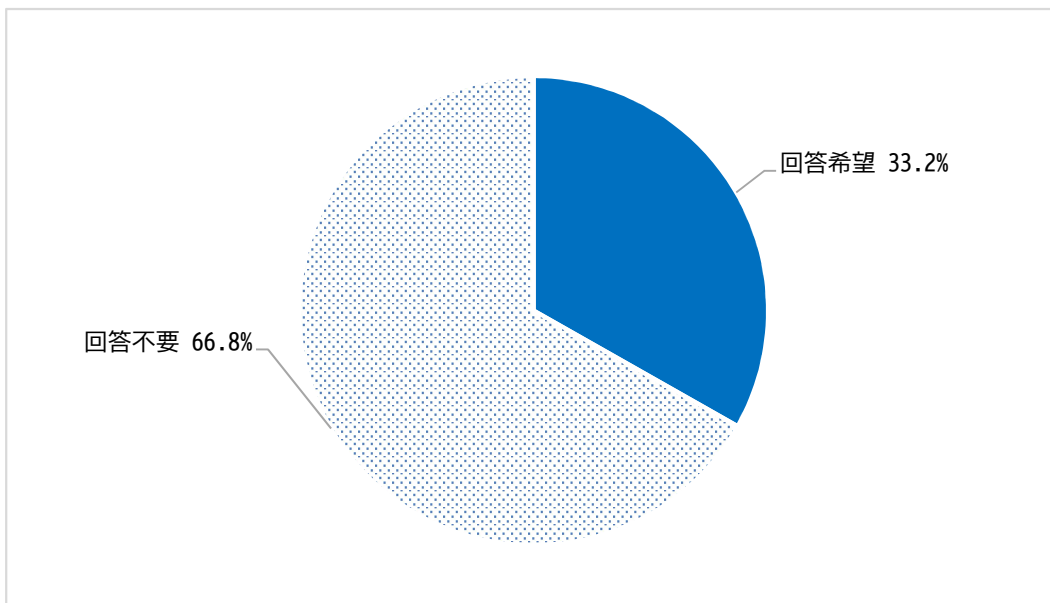
④-1投稿する際に記載する氏名の有無について

投稿する際、氏名を記載している割合が47.7%、無記名の割合が52.3%であった。
氏名等連絡先の記載がないため、詳細の確認等ができず、投稿者の意図に沿った対応ができない場合がある。



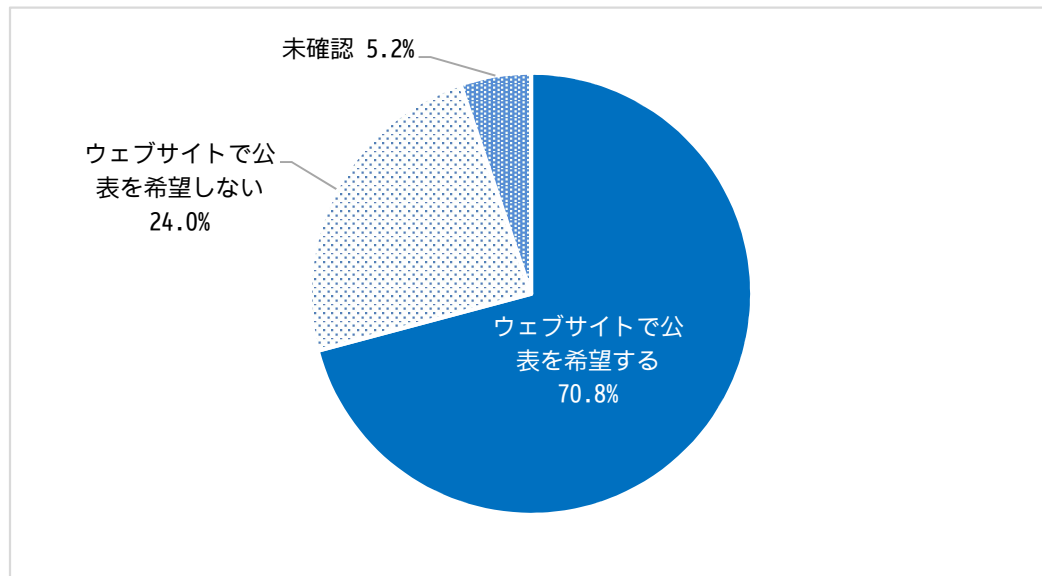
④-2回答を希望する割合について

投稿内容に対し回答を希望する割合は33.2%、回答を希望しない割合は66.8%であった。
回答を希望しない投稿は、住所・氏名等の記載がない場合が多く、「市政の参考にしてほしい（回答不要）」を選択する割合が高い傾向にある。

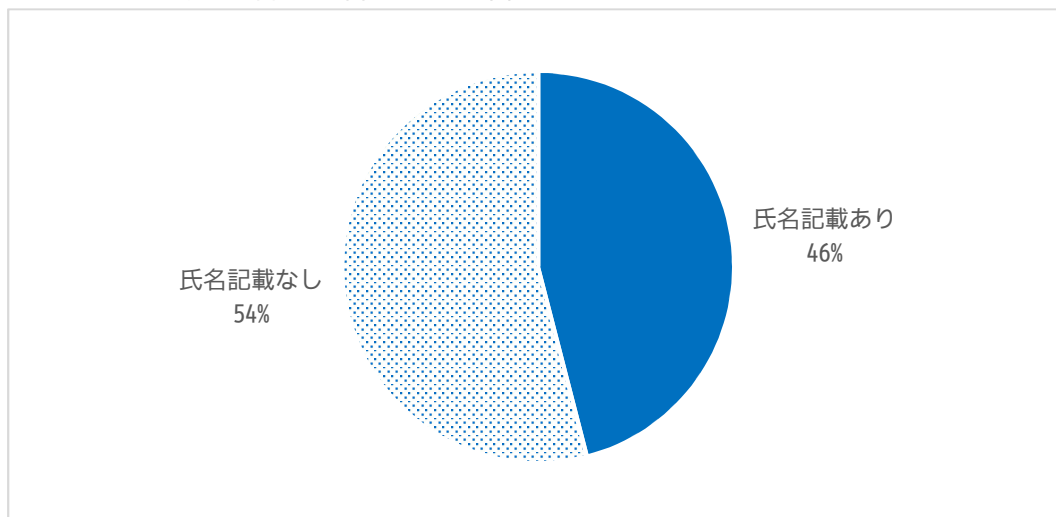


④-3公表を希望する割合について

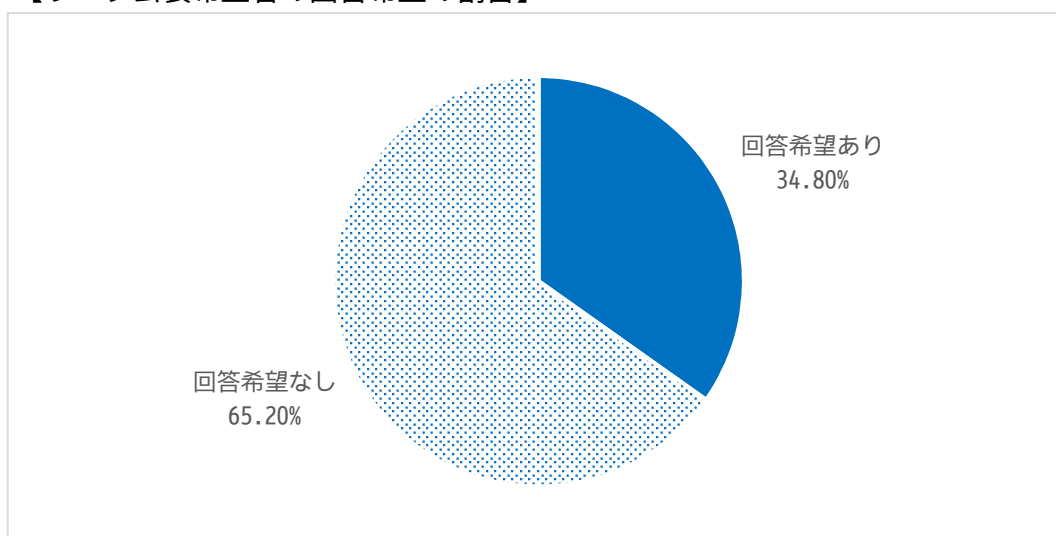
投稿内容のウェブサイト上への掲載について、投稿者の7割が公表を希望している。公表を希望する投稿者のうち氏名の記載がある投稿者は46%、回答を希望する投稿者は34.8%であった。



【ウェブ公表希望者の氏名記載の割合】

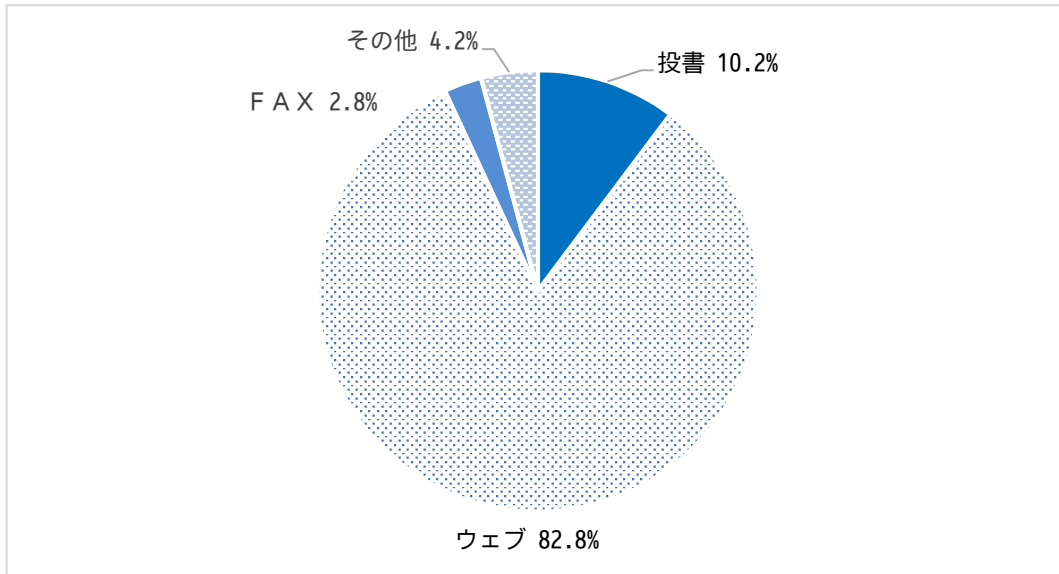


【ウェブ公表希望者の回答希望の割合】



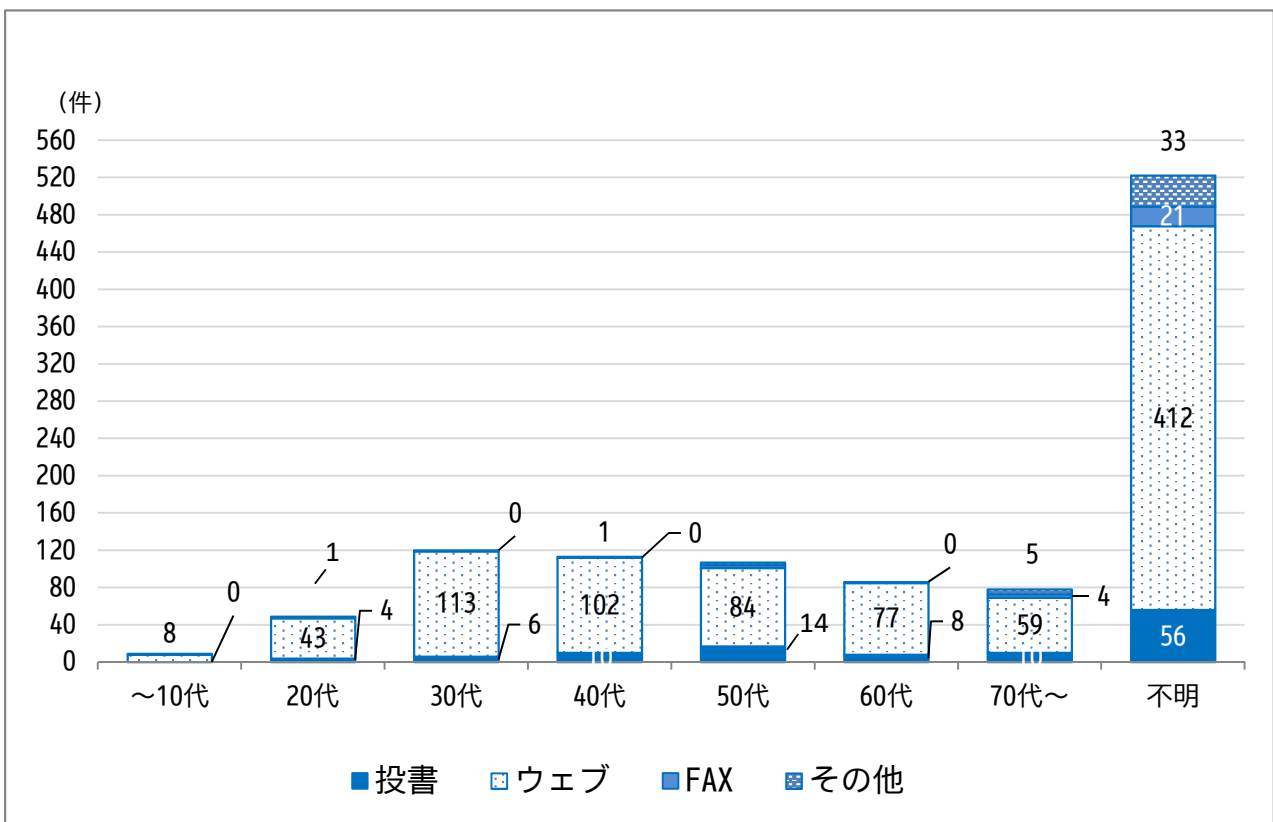
⑤-1投稿ツール

ウェブによる投稿が最も多く、全体の約8割を占めている。このことから、インターネットは最も投稿しやすい環境であると考えられる。また、投書による投稿は、今年度10.2%であり昨年度11.1%と比較し、横ばいである。



⑤-2投稿ツール（年代別）

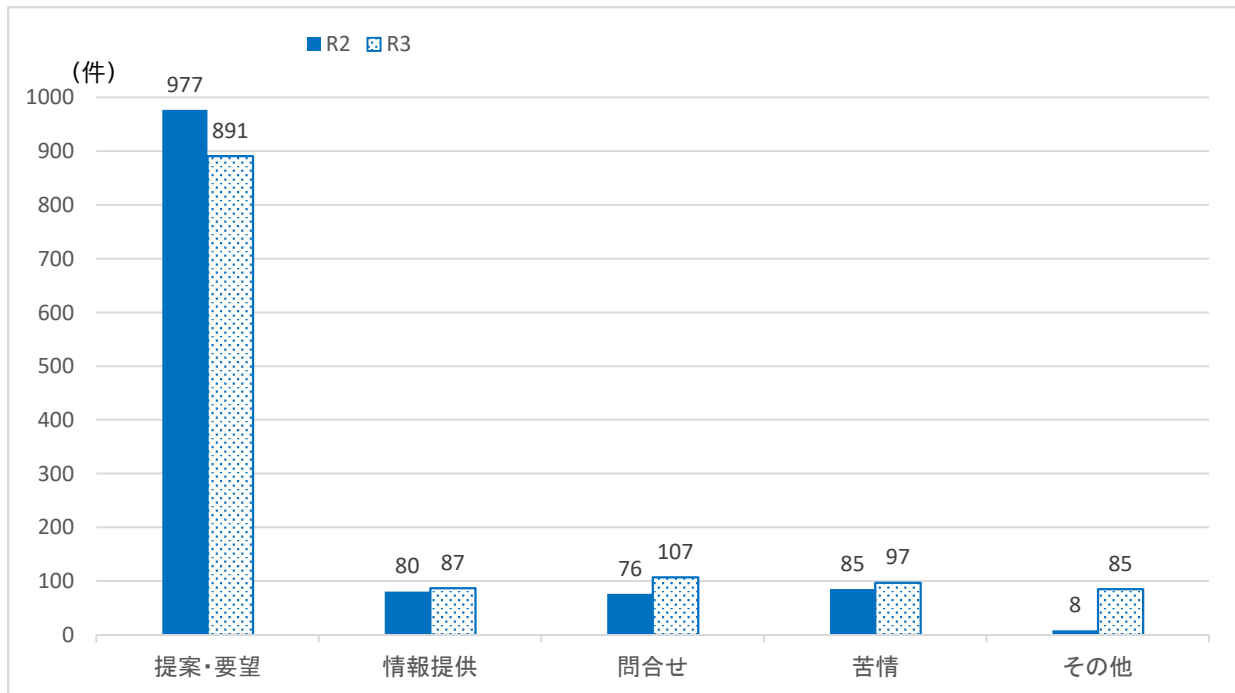
各年代ともウェブによる投稿が最も多くなっている。



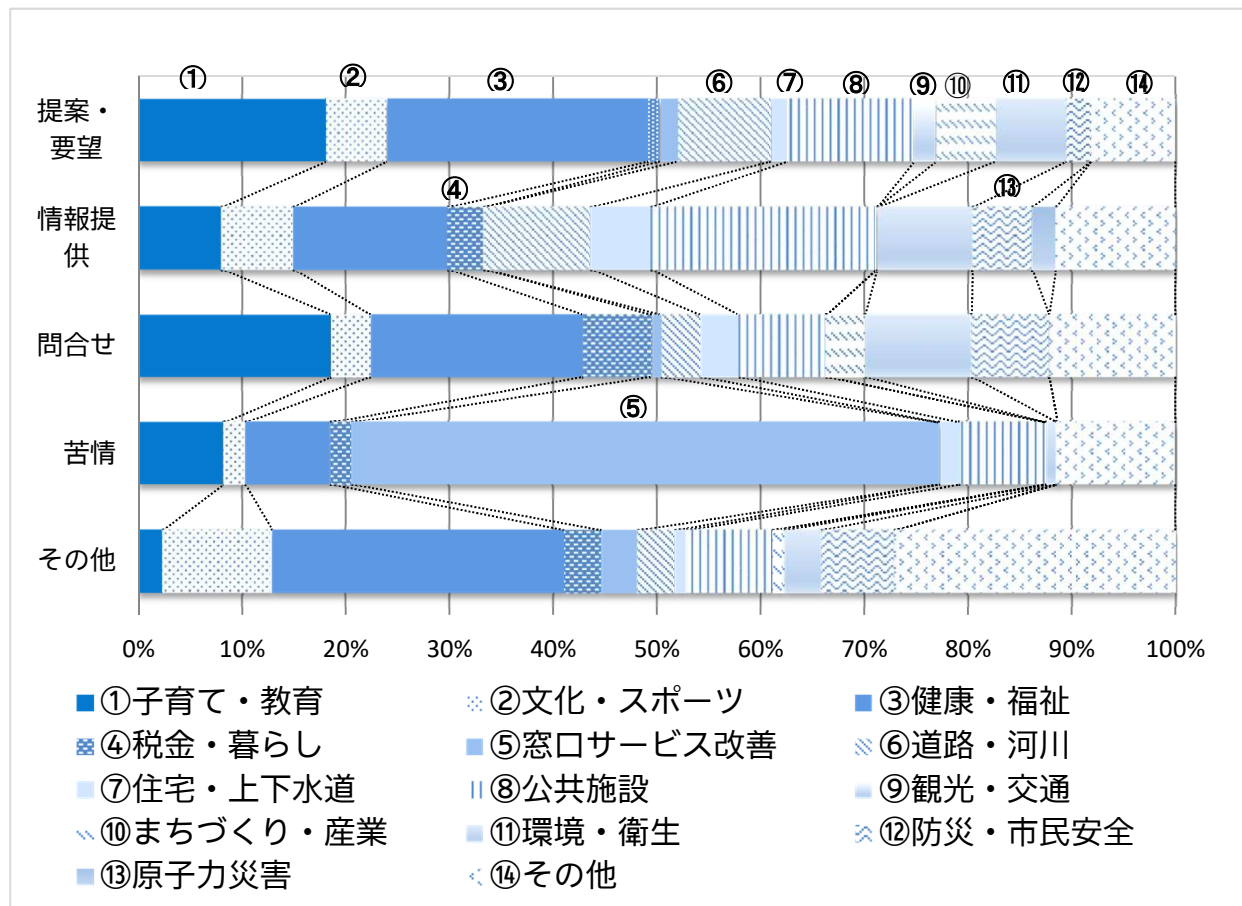
(3) 投稿の内容

①-1投稿種別

投稿種別では、「提案・要望」が891件で最も多く、次いで「問合せ」が107件、「苦情」が97件となっている。「その他」が前年度と比較し大幅に増加したが、要因として2022年2月のウェブサイトの更新があり、更新以降ウェブサイトに関する投稿が増加した。

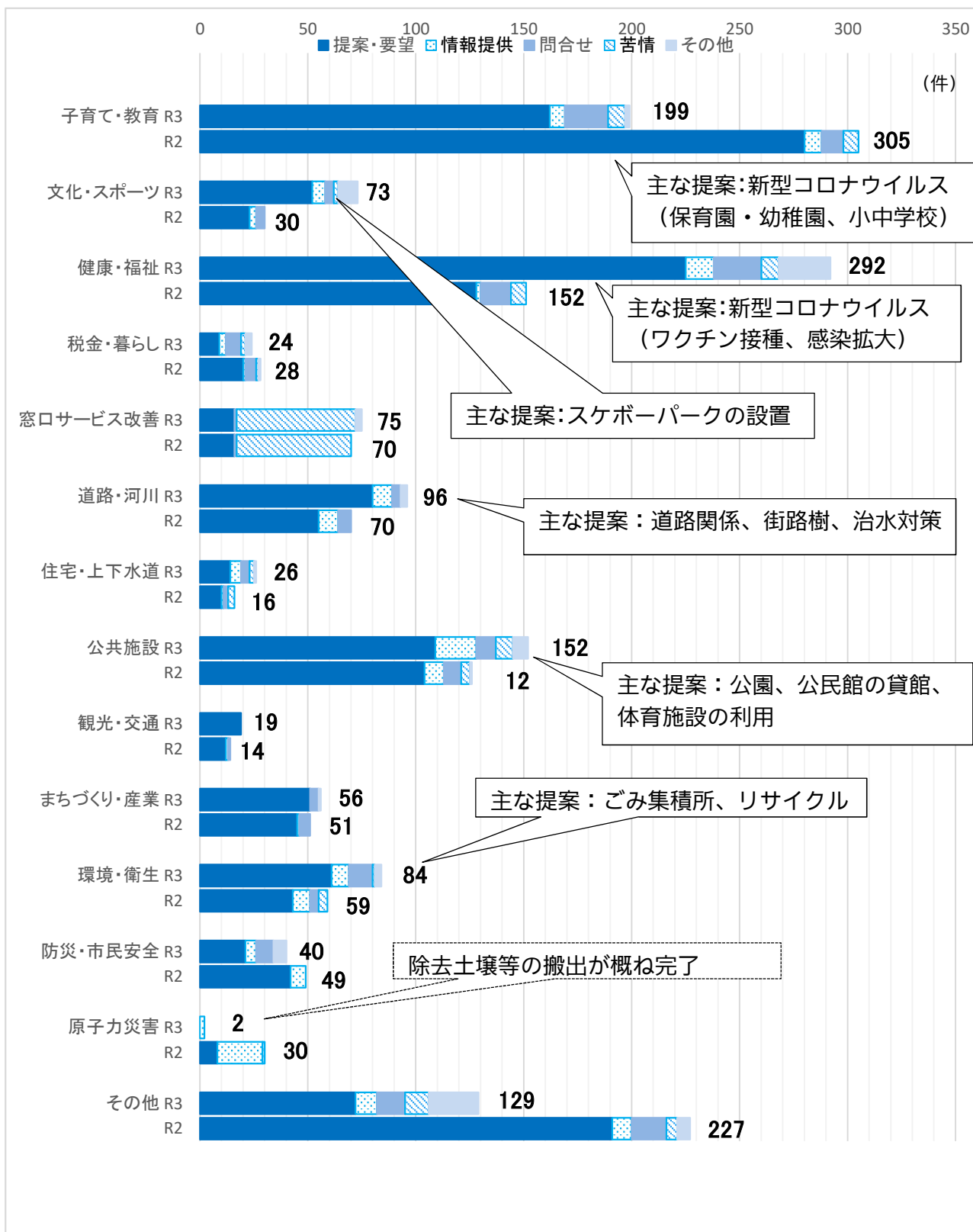


①-2投稿種別 (分野別割合)

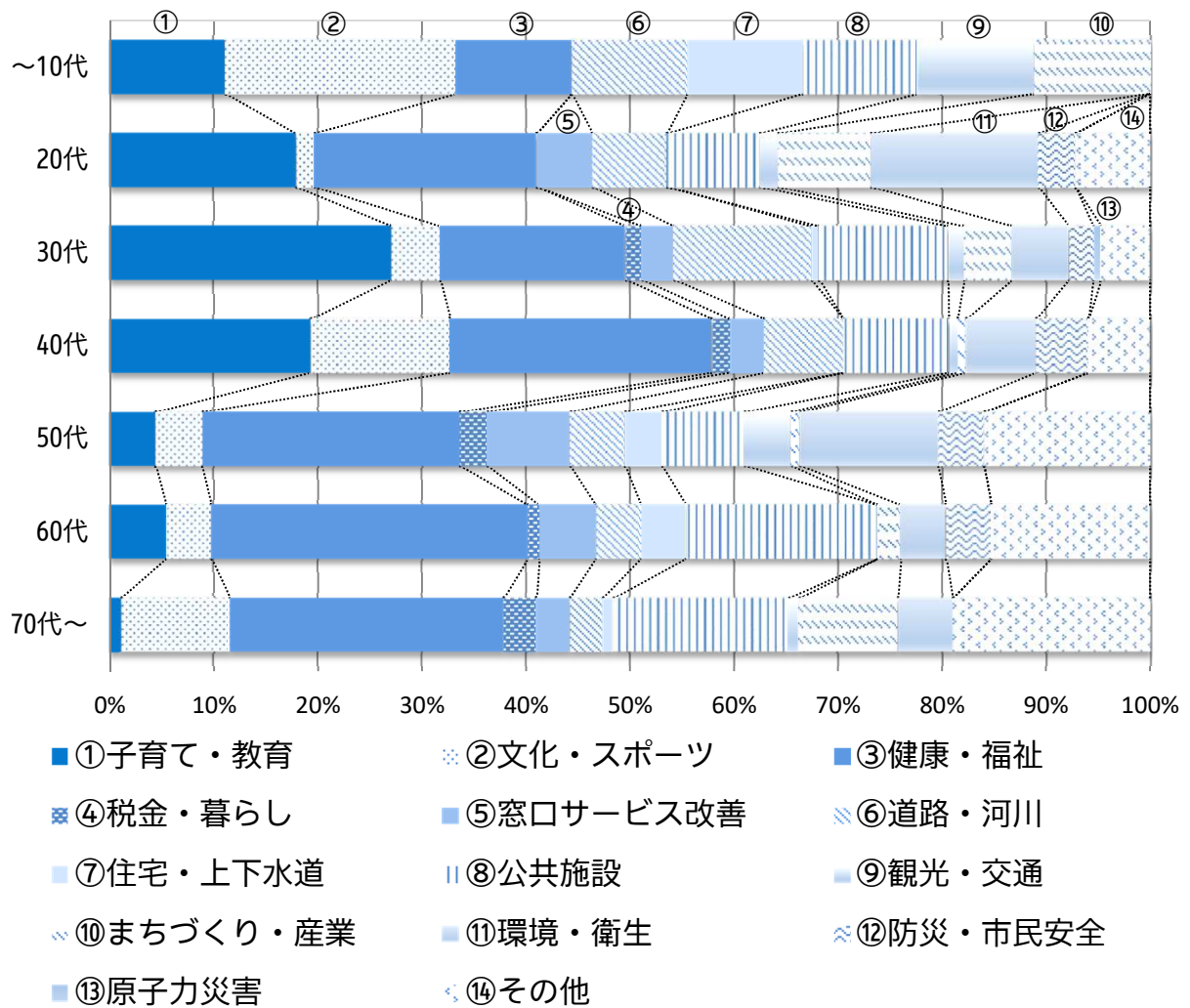


②分野別提案等件数

「健康・福祉」に関する提案等が292件で最も多く、次いで「子育て・教育」が199件となっている。今年度は、新型コロナウイルスの影響が非常に大きく「健康・福祉」に関する投稿が群を抜いている。また、昨年延期となった東京オリンピックが開催された影響により「文化・スポーツ」の投稿も例年より多くみられた。



③-1分野別（年代別の割合）

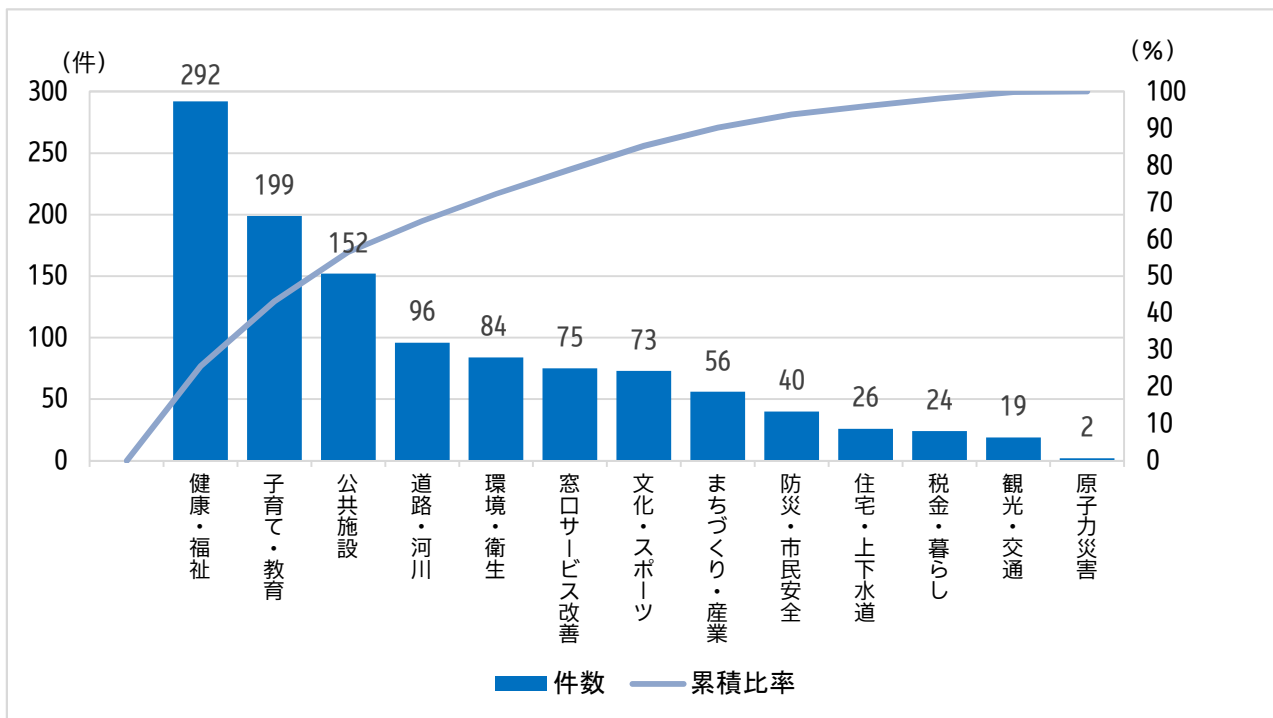


③-2分野別（年代別の分野「上位3分野（「その他」除く）」）

～10代	①文化・スポーツ	②健康・福祉/公共施設/観光・交通/まちづくり・産業	
(前年度)	(子育て・教育)	(まちづくり・産業)	-
20代	①健康・福祉	②子育て・教育	③環境・衛生
(前年度)	(子育て・教育)	(道路・河川/まちづくり・産業)	(健康・福祉/防災・市民安全)
30代	①子育て・教育	②健康・福祉	③道路・河川
(前年度)	(子育て・教育)	(健康・福祉)	(窓口サービス改善/まちづくり・産業)
40代	①健康・福祉	②子育て・教育	③文化・スポーツ
(前年度)	(子育て・教育)	(公共施設)	(健康・福祉/窓口サービス改善)
50代	①健康・福祉	②環境・衛生	③窓口サービス改善/公共施設
(前年度)	(健康・福祉)	(公共施設)	(原子力災害)
60代	①健康・福祉	②公共施設	③子育て・教育/窓口サービス改善
(前年度)	(窓口サービス改善)	(公共施設)	(健康・福祉/道路・河川)
70代	①健康・福祉	②公共施設	③文化・スポーツ
(前年度)	(健康・福祉)	(公共施設/環境・衛生)	(道路・河川)

③-3分野別（分野別分布「その他」除く）

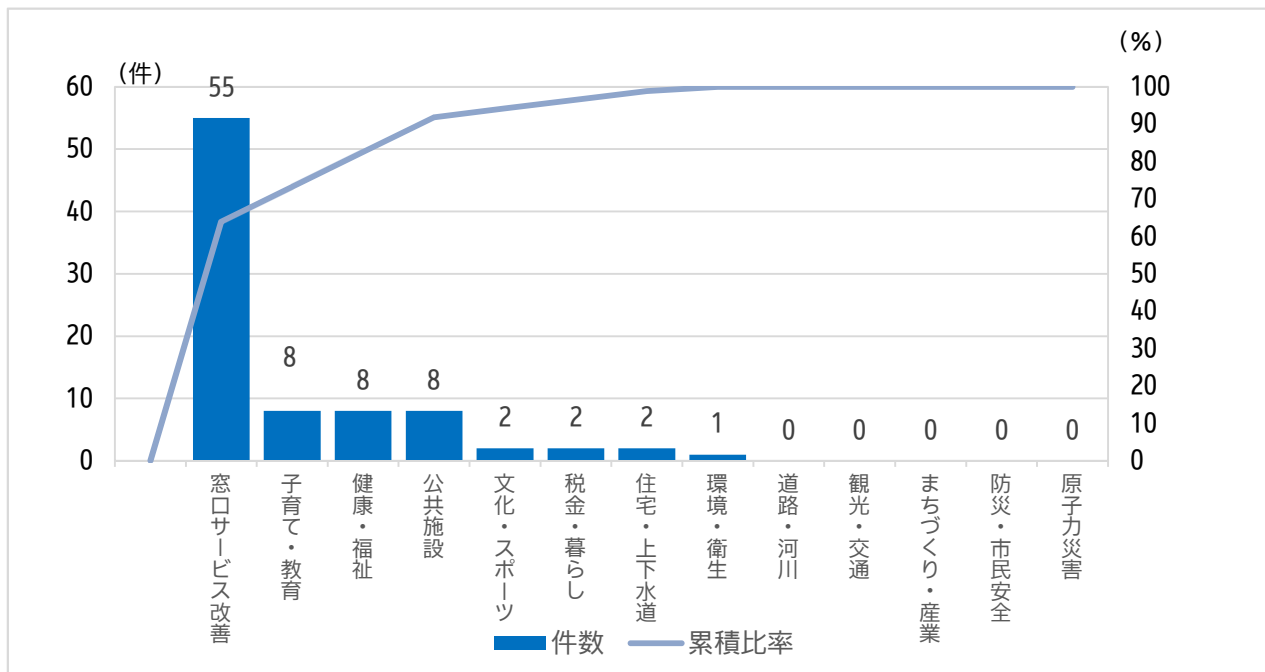
「健康・福祉」の分野だけで、全体の約3割を占めている。



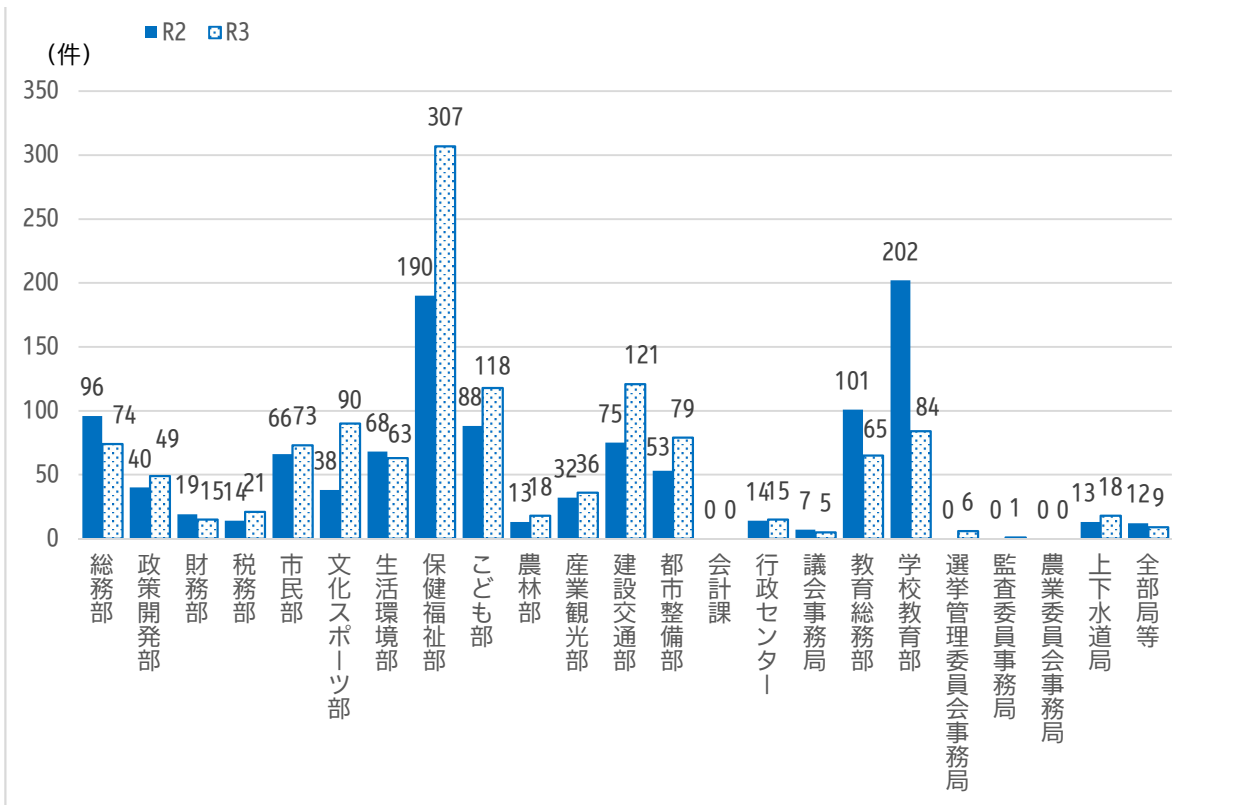
③-4分野別（苦情の分野別分布（「その他」除く）

【苦情の内容(窓口サービス改善のみで64.0%を占める)】（「その他」除く）

窓口サービス改善：窓口対応、窓口手続き、電話対応 など



(4) 部局別提案等件数



※各部局ごとの主な内容

- 「総 務 部」⇒ 庁舎のコロナ対策、職員服務、防災無線など
- 「政策開発部」⇒ 市民提案制度、ウェブサイト、市長記者会見 など
- 「財 務 部」⇒ 旧豊田貯水池の後利用 など
- 「税 務 部」⇒ 窓口対応、納付方法 など
- 「市 民 部」⇒ 窓口対応、マイナンバー、客引き行為防止 など
- 「文化スポーツ部」⇒ スポーツ施設（利用・予約）、スケボーパーク など
- 「生活環境部」⇒ ごみ集積所、リサイクル など
- 「保健福祉部」⇒ 新型コロナウイルス（対応・対策） など
- 「こ ど も部」⇒ 新型コロナウイルス（幼稚園・保育園）、放課後児童クラブ など
- 「農 林 部」⇒ ため池、鳥のふん害 など
- 「産業観光部」⇒ 商業施設・映画館誘致、新型コロナウイルス（飲食店支援） など
- 「建設交通部」⇒ 郡山駅前、道路整備、治水対策、市営住宅 など
- 「都市整備部」⇒ 公園（整備・管理） など
- 「行政センター」⇒ 窓口対応 など
- 「議会事務局」⇒ 議会運営
- 「教育総務部」⇒ 生涯学習施設（利活用）、学校施設、窓口対応 など
- 「学校教育部」⇒ 新型コロナウイルス（休校・登校・部活動） など
- 「上下水道局」⇒ 治水対策、水道料金 など
- 「全部局等」⇒ 接遇対応 など